

西陣にしちんといふは、明徳の頃山名細川やまなほそかはの両執権洛中らくちゆうにおいて数度合戦ありし時、堀川ほりかはの西一条より北に屯するを西陣にしちんといひ、堀川ほりかはより東を東陣ひがしちんといふとぞ。〔委は応仁記に見えたり〕